

# Ⅰ 令和4年度事業報告書及び事業報告の附属明細書

## (1) 事業体系

公益財団法人福岡よかトピア国際交流財団は、アジア太平洋博覧会-福岡'89の成功を記念するとともに、市民一人ひとりが多様性を認め合いながら国際的な相互理解を深める多文化共生社会の実現に寄与し、もって、地域の発展と国際平和に貢献するという当財団の目的に向けて、下記の4つの柱に基づき各種事業を実施した。

### ① アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業

アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業として、福岡アジア文化賞の共催及びアジア太平洋こども会議への助成を行った。

### ② 市民の国際交流を促進する事業

市民の国際理解・国際協力への意識の高揚を図り、国際交流を推進するため、ボランティア交流推進、語学等を通じた国際理解、国際交流団体のネットワーク推進等を行った。

### ③ 在住外国人及び外国人学生を支援する事業

外国人にも住みやすく活動しやすいまちにするため、窓口相談や各種情報提供をはじめ、在住外国人等への支援を行った。

また、福岡都市圏で学ぶ外国人学生が安心して勉学に励むことができるように、留学生宿舎の管理運営や外国人学生支援を行った。

### ④ グローバル人材を育成する事業

国際社会で活躍できるグローバル人材を育成するため、奨学金の支給や留学生と企業との交流サロン等を行った。

## (2) 事業報告

令和4年度は、令和3年度に引き続き、オンラインの活用等を積極的に取り入れ、新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら事業を推進した。

### ① アジア太平洋博覧会-福岡'89を記念する事業

#### ア 福岡アジア文化賞

新型コロナウイルス感染症の影響により、授賞式は招待者のみでの開催となったが、秋篠宮皇嗣同妃両殿下に御臨席を賜ることができた。

また、市民フォーラムや学校訪問も感染症対策を講じながら開催し、多くの市民の方々に参加いただいた。

(ア)主 催 福岡市、(公財)福岡よかトピア国際交流財団

運営母体 福岡アジア文化賞委員会

事務局 福岡市総務企画局国際部内

(イ)授賞式 令和4年12月22日、福岡国際会議場メインホール

(ウ)受賞者

a 大 賞 林英哲氏(日本/音楽)

b 学術研究賞 タイモン・スクリーチ氏(英国/美術史)

c 芸術・文化賞 シャジア・シカンダー氏(米国/美術)

## (エ) 市民フォーラム

- a 大賞 令和4年9月28日、電気ビル共創館みらいホール
- b 学術研究賞 令和4年9月28日、福岡市美術館ミュージアムホール
- c 芸術・文化賞 令和4年9月30日、福岡アジア美術館あじびホール

## (オ) 学校訪問

- a 大賞 令和4年9月26日、内浜中学校
- b 学術研究賞 令和4年9月29日、福岡女子高等学校
- c 芸術・文化賞 令和4年9月29日、福岡雙葉高等学校

## イ 「アジア太平洋こども会議・イン福岡」助成

インターネットを活用し、海外参加者と国内参加者とのオンライン交流事業等を開催した「BRIDGE KIDS PROGRAMS 2022」への助成を行った。

(ア) 主催 NPO法人アジア太平洋こども会議・イン福岡 (APCC)

### (イ) 事業内容

- a BRIDGE Virtual Summer Camp (交流事業)  
参加団体 26団体 (21か国・地域、日本を除く)  
参加者数 312名
- b BRIDGE Support (サポート事業)  
ボランティア登録促進、支援の会新規会員拡大、医療サポート体制整備 等
- c BRIDGE CLUB International Organization (BCIO (ブリッジクラブ国際組織))  
APCC 参加国・地域に同窓会組織を設立し、プログラムを推進
- d 情報提供事業  
APCC のノウハウ等を教育現場での活用するコンテンツを企画・開発

## ② 市民の国際交流を促進する事業

### ア 国際交流活動助成事業

福岡市民の国際交流を支援し、福岡市の国際化を推進するため、民間団体の国際交流事業等に対する助成として4団体に助成を行った。

#### (ア) 制度概要

##### a 国際交流活動助成

市民の国際交流、国際理解、国際協力等に資する活動を行う団体および個人に対し、助成対象経費の5割以内で、1件20万円まで助成

##### b 国際交流活動人材育成助成

対象団体の運営従事者が、当該団体の発展または目的達成のために必要とする講座・セミナー・研修会等を受講する場合の受講費用・学費、教材費、交通費、宿泊費等を1団体あたり、年間2万円まで助成

#### (イ) 令和4年度実績

応募件数 国際交流活動助成6件  
採択件数 国際交流活動助成6件 \*うち2件事業実施前に取り下げ  
助成金額 586,350円

## イ 外国人支援ボランティアバンク

地域住民と外国人の相互理解、国際交流を促進するとともに、福岡市内で生活または活動する外国人へ支援を行う「外国人支援ボランティアバンク制度」を運用し、登録ボランティアによるよりきめ細かな外国人支援を行った。

登録者数 281名(延べ登録者数588名)

登録言語数 20言語

延べ活動者数 175名

### (ア) ボランティアの種類

#### a 通訳・翻訳

- ・日本語から外国語または外国語から日本語への通訳・翻訳
- ・保育所や学校からの配布物、その他郵便物等の簡単な翻訳・通訳、日常生活の相談(チュータープログラム)

登録者数 210名

支援件数 45件(通訳・翻訳)、26件(チューター利用者)

#### b 交流支援

日本人と外国人の交流、外国人支援に関する事業等の企画・運営を支援

登録者数 226名

支援件数 4件

#### c 災害時外国人支援

災害時における情報の収集及び福岡市災害時外国人情報支援センター等からの外国人への情報伝達並びに防災力向上に関する活動の通訳・翻訳

登録者数 118名

支援件数 0件

#### d ホストファミリー

在福・来福の外国人を家庭に招待。宿泊・食事を共にするホームステイまたは宿泊を伴わないホームビジットを通じて、日本の文化、生活習慣等への理解や交流を深める機会を提供し、文化や習慣の学び合い、理解と友情の育成につなげる。

登録者数 34名

利用件数 ホームステイ 2件

ホームビジット 2件

### (イ) 登録ボランティアによる行政情報発信

計4件の情報を延べ594名の登録ボランティアへ発信

### (ウ) ボランティア研修

ボランティア登録者に対し、通訳時の基本的な心構えや注意点、活動に必要な知識や情報を提供する研修を実施した。また、災害時外国人支援の登録者に対し、災害時対応等に関する研修を実施した。

実施回数 6回

参加者数 100名

(内訳) 全員を対象とした基礎研修:2回(36名)

行政書士通訳専門研修:3回(46名)

災害時通訳翻訳専門研修:1回(18名)

## ウ 語学等を通じた国際理解

### (ア) 留学生から学ぶ外国語教室

市民の国際交流の推進にあたり、留学生を講師として、交流の有効な手段の一つである「言葉」の習得を手助けする教室を開催した。これにより、様々な言語で日常会話ができる程度の語学力を身に着けるとともに、言葉の学習を通じて国際理解・国際交流を深める機会を提供した。

- a 共 催 福岡市
- b 開催期間 令和4年7月～令和5年2月
- c 内 容 中国語、韓国語、ベトナム語等10言語、12講座を実施
- d 定 員 各クラス16名
- e 講 師 福岡都市圏の大学・短大に在籍する、または福岡市内に在住の留学生
- f 受講者数 160名

### ※留学生から学ぶ外国語教室・番外編

#### a 来て見て楽しんでベトナムの魅力

- ・開催日 令和5年2月23日
- ・会 場 福岡アジア美術館あじびホール
- ・内 容 ベトナム航空職員による最新のベトナム観光情報の提供  
ベトナム語講師による旅行で役立つベトナム語会話の練習
- ・参加者数 80名

### (イ) フランス語講座

福岡市の姉妹都市であるフランス・ボルドー市との交流を促進するため、アンスティチュ・フランセ九州と共催でフランス語講座を行い、フランス語を習得する機会を市民に提供した。

- a 主 催 アンスティチュ・フランセ九州
- 共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団
- b 事務局 アンスティチュ・フランセ九州内
- c 実 施 年4回(春、夏、秋、冬) 各3か月
- d 講座数 255講座
- e 受講者数 延べ2,004名

### (ウ) 外国人による日本語スピーチコンテスト

外国人に日本語を学ぶことを奨励するとともに、日本人と外国人の相互交流・相互理解の場を提供するため、日本語スピーチコンテスト実行委員会との共催でコンテストを開催した。なお、コンテストの様様については、一定期間、動画配信を行った。

- a 主 催 日本語スピーチコンテスト実行委員会
- 構成団体 日本語学校及び日本語教室 14団体
- 共 催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団、福岡市  
福岡外国人学生支援の会
- b 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- c 開催日 令和4年10月29日
- d 会 場 福岡市科学館サイエンスホール

- e 出場者 9名
- f 来場者 126名
- g 動画配信 令和4年11月4日～12月31日
- h 視聴回数 4動画 合計498回

### (エ) 国際理解教育講師派遣

青少年の国際理解の推進・国際力の育成を目的として、福岡県内の小・中学校等へ留学生等を講師として派遣した。

- a 主 催 福岡国際理解教育講師派遣事業協議会  
構成団体 福岡県、福岡市教育委員会、北九州市教育委員会  
(公財)福岡よかトピア国際交流財団  
(公財)福岡県国際交流センター  
(公財)北九州国際交流協会
- b 事務局 (公財)福岡県国際交流センター内
- c 実施時期 令和4年4月～令和5年3月
- d 派遣回数 16校・18回(福岡市内)
- e 参加者数 1,985名(福岡市内)

## エ 国際交流団体のネットワーク推進等

### (ア) 福岡国際関係団体連絡会(FUKU-NET)

福岡都市圏の国際交流・協力を行う様々な団体のネットワーク組織で、各団体間の連携を図り、地域の国際化の推進に寄与することを目的として、総会・連絡会及び加盟団体を紹介するパネル展などを開催した。

- a 主 催 福岡国際関係団体連絡会  
構成団体 (公財)福岡よかトピア国際交流財団等64団体
- b 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- c 実施時期 総 会 1回(4月)  
連絡会 5回(4月、6月、9月、11月、1月)  
パネル展 1回(令和5年1月31日～2月5日、福岡市役所1階多目的スペース)
- d 参加者数 延べ147名 ※オンライン参加を含む、パネル展は含まず

## オ 国際交流推進

### (ア) 姉妹都市等との連携・交流

感染症の影響により、姉妹財団である釜山国際交流財団主催のイベントへの招待はなかった。

### (イ) 子ども向け交流イベント

外国人親子と日本人親子が遊びやお弁当作りを通じて交流する場を提供した。

- a 世界とつながろう 世界のあそび SDGs
  - ・開催日 令和4年7月28日
  - ・会 場 福岡アジア美術館あじびホール
  - ・参加者数 日本人、外国人親子 62名
- b かんたんなおにぎりべんとうを いっしょにつくろう
  - ・開催日 令和5年3月11日
  - ・会 場 あいれふ調理実習室
  - ・参加者数 日本人、外国人親子 27名

## (ウ) 他団体との連携事業

市民の国際交流の促進や外国人支援の強化を図るため、福岡市役所内の他部門等と連携して事業を実施した。

### a 夏休み子ども美術館2022ガイドツアー「水のリズム」

福岡市美術館と共催で、母語が日本語ではない親子を対象に、やさしい日本語を使って常設展示室のツアーを行った。

- ・開催日 令和4年7月9日および8月19日
- ・参加者数 22名(8家族)

### b 外国語による絵本の読み聞かせ

福岡アジア美術館が日本語で実施している「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」に、当財団の登録ボランティアを派遣し、外国語による絵本の読み聞かせを行った。

- ・開催日 令和4年10月23日(インド)および12月11日(韓国)
- ・参加者数 24名(13組)

### c 世界のことばに触れよう

福岡アジア美術館と共催で、外国語と日本語によるアジアの絵本と紙芝居の読み聞かせや、オノマトペ(擬音語・擬態語)に関するクイズなどを行った。

- ・開催日 令和5年2月11日
- ・参加者数 51名

### d 国連職員と考えるSDGsワークショップ

国連ハビタット福岡本部の職員を講師に迎え、小学4年生から中学3年生の子どもを対象としたSDGsに関するワークショップを実施した。

- ・開催日 令和5年3月18日
- ・参加者数 10名

## カ 第13回アジア太平洋都市サミット開催

都市間連携等による都市問題の解決を目指し、「新しい価値観、新しいまちへ」をテーマに、第13回アジア太平洋都市サミットをオンラインで開催した。

- (ア) 主催 福岡市、国連ハビタット福岡本部
- 運営母体 第13回アジア太平洋都市サミット実行委員会
- 構成団体 福岡市、国連ハビタット福岡本部、  
(公財)福岡よかトピア国際交流財団、福岡商工会議所
- (イ) 事務局 福岡市総務企画局国際部内
- (ウ) 開催日程 令和4年7月27日、28日(2日間)
- (エ) 参加都市 13か国・33都市

### ③ 在住外国人及び外国人学生を支援する事業

#### ア 福岡市外国人総合相談支援センター

##### (ア) 一般相談・情報提供

「福岡市外国人総合相談支援センター」では、令和4年4月に相談電話へのフリーダイヤルの導入、並びにLINEによる情報発信サービスを開始したほか、7月にはLINEコールによる電話相談を開始、9月にはベトナム語相談支援員を配置するなど、相談体制の機能強化に努めた。

また、福岡市内に居住するウクライナ避難民の方へのきめ細かな支援を行うため、ウクライナ避難民支援員を8月に配置した。

さらには、国際交流・国際理解・国際協力に関する資料収集・情報提供を行ったほか、外国人住民に対し、ホームページやFacebook、LINEを活用した積極的な情報発信に努めた。

- a 電話通訳サービスを含め22言語(やさしい日本語含む)での相談対応  
相談者数 3,068名(来訪1,130、電話1,604、メール等334)  
※うち、外国人 2,018名(国籍不明者含む)
- b 英語、中国語、韓国語に加え、ベトナム語相談支援員を配置
- c ウクライナ避難民支援員の配置  
相談者数 478名(上記「a」の相談者数の内数)
- d 4地点4者による電話通訳サービス、タブレット及びポケットクを活用した多言語相談対応
- e フリーダイヤルやLINEコールを活用した電話相談  
フリーダイヤル 466件(上記「a」の電話の内数)  
LINEコール 14件(上記「a」の電話の内数)
- f 無料Wi-Fiの利用提供  
福岡市国際会館1階及び4階国際交流フロア
- g 図書、新聞、パンフレット等の資料収集・提供  
図書貸出数 89冊
- h 外国語情報紙(英・中・韓)の発行(春、夏、秋、冬)  
英語各2,100部、中国語各1,500部・韓国語各1,400部
- i 語学学習情報の提供
- j ホームページ、Facebook等による情報提供  
ホームページアクセス数 376,709件(ページビュー数)  
Facebook情報発信件数 236件  
LINE友達登録件数 305件  
LINE情報発信件数 44件(VOOM37、チャット投稿7)

## (イ) 外国人専門相談

外国人住民の生活上の諸問題について、専門家による無料相談会を実施した。

### a 外国人法律相談

法律、慣習や文化の違いから、紛争解決に関して一般的に弱い立場に置かれがちな外国人に対し、福岡県弁護士会と共催で法律的な助言、情報提供を行い、必要に応じて通訳を手配した。予約制で月2回(第1土曜日・第3水曜日)開催。

- ・実施回数 20回
- ・相談者数 42名(19か国)

### b 外国人のための入国・在留・国籍に関する相談

外国人の在住のために不可欠な在留資格や住民登録等の行政手続に関し、福岡県行政書士会との共催で情報提供と助言を行った。英語と中国語の通訳が常駐し、予約不要で月1回(第2日曜日)開催。

- ・実施回数 12回
- ・相談者数 86名(24か国・地域)

### c 外国人心理カウンセリング

言葉の問題や生活環境の違いなどから精神的問題を抱える外国人を対象に、臨床心理士(財団職員)が、問題の解決に向けた心理カウンセリングを、日本語または英語で行った。予約制で週3回(月・火・木曜日)開催。

- ・実施回数 延べ315回
- ・相談者数 55名(19か国)

## イ 外国人向け広報ラジオ番組

外国人に対し、財団が行う事業や福岡市国際会館の取組みなどについて、多言語ラジオ放送局であるラブエフエムを通じて、英語、中国語、韓国語、ネパール語及びベトナム語の5か国語による広報を実施した。

(ア)放送 毎月第2週または第3週の月曜～金曜日の8:54～9:00

## ウ 外国人住民のための日常生活アドバイス

外国人住民の快適な生活を可能にするとともに、日本人住民と外国人住民双方の暮らしの安心感を高めるため、新たに福岡に来た外国人を対象とした自転車の交通ルール、ごみ出しルール等に関する出前講座を行った。

また、外国人住民を対象に、インターネット動画等による日本での生活に必要なルール、暮らしのヒントや防災知識の普及を行った。

(ア)協力 福岡市(市民局、環境局)

(イ)実施回数、受講者数

- a 交通安全・防犯 8回、367名
- b ごみ出しルール 6回、447名

## エ 国際交流フロア及び留学生宿舎管理運営

留学生及びその他の外国人住民と市民との交流、並びにその他の国際交流の促進に資する事業を行う場を提供するとともに、福岡都市圏の大学等に在籍する外国人学生に比較的安価で良質な住居を提供した。

国際交流フロアの提供にあたっては、各会議室に卓上パーテーションを配置するとともに、利用人数の制限や利用中の換気、利用後の机・椅子等の消毒、利用団体にチェックリストの記入・提出を求めるなど、感染症の予防対策を徹底した。

また、国際交流フロア及び留学生宿舎の施設の一部改修や備品購入等を行った。

- (ア) 施設概要
- |      |                   |
|------|-------------------|
| 4階   | 国際交流フロア(貸会議室等 5室) |
| 5階   | 世帯用宿舎(2K 5戸)      |
| 6-9階 | 単身用宿舎(1R 54戸)     |

- (イ) 国際交流フロア利用件数 1,479件  
利用者数 12,032名

- (ウ) 施設改修 国際交流フロアトイレ改修、留学生宿舎エアコン取替え ほか

## オ 「あったか福岡」外国人学生支援

外国人学生が有意義な生活を送ることができる環境づくりを推進するため、「福岡外国人学生支援の会」と共催で事業を行い、外国人学生の生活の安心感の向上を図った。

- (ア) 主催 福岡外国人学生支援の会  
共催 (公財)福岡よかトピア国際交流財団
- (イ) 事務局 (公財)福岡よかトピア国際交流財団内
- (ウ) 実施内容

### a 日本語おしゃべり交流会

オンラインによる日本語おしゃべり交流会を開催し、外国人学生の日本語学習支援と参加者間の相互理解を図った。

- ・実施回数 10回(7月と12月を除く毎月1回)
- ・参加者数 251名

### b 母語によるおしゃべり交流会

令和4年度新規事業として、母語によるおしゃべり交流会を開催した。

#### ・中国語でおしゃべり交流会(オンライン)

開催日 令和4年7月30日  
参加者数 6名

#### ・ベトナム語でおしゃべり交流会

開催日 令和5年1月7日  
参加者数 6名

### c 外国人学生が語るふるさとの街と福岡(隔月第3木曜日)

- ・実施回数 7回(4月、5月、7月、9月、11月、1月、3月)※7月と1月は英語で実施
- ・参加者数 176名

#### d 外国人学生歓迎交流事業

- ・開催日 令和4年12月18日
- ・内容 福岡アジア美術館で特別展と歓迎パフォーマンス(アイリッシュハーブ、中国伝統舞踏、豊前唐原神楽)を鑑賞後、日本人と留学生でグループを作り、博多旧市街エリアのウォーキングクイズラリーを行い楽しく交流した。最後は、国際会館でクイズに関する答え合わせを通して、福岡の歴史や災害についての情報を共有した。
- ・参加者数 85名(留学生61名、日本人市民24名)

#### e 施設見学会「福岡のごみ処理と災害を知ろう!」

- ・開催日 令和5年3月24日
- ・内容 福岡市のごみ処理施設「クリーンパーク臨海」及び防災啓発施設「福岡市民防災センター」を見学し、福岡市のごみ処理と防災に関する知識を深めるとともに、留学生同士の交流を図った。
- ・参加者数 18名

### カ 地域における日本語教育の推進

地域で外国人の日本語学習を支援している日本語教室で活動するボランティアの養成や、地域の日本語教室活動に有用な多文化共生推進、日本語学習支援等の情報の提供を実施した。

#### (ア) 日本語ボランティアの養成

地域の日本語教室で外国人住民の日本語学習を支援するボランティアを養成する講座を実施し、講座修了生の日本語教室での活動促進を行った。

##### a 新・日本語ボランティア養成講座

- ・講座内容 多文化共生ややさしい日本語等、外国人と接する際の基礎知識や教室見学を通じたボランティアの役割等の活動を開始するうえで必要な技術や知識を学ぶ講座を開催した。
- ・会場 6回オンライン、2回福岡市国際会館、2回地域の日本語教室
- ・回数 全10回
- ・対象者 これから日本語ボランティア活動の開始を希望する者
- ・受講者数 51名(修了者48名)

##### b 日本語ボランティアフォローアップ研修

- ・研修内容 日本語の教え方や教室での活動について学ぶ研修を開催した。
- ・会場 福岡市国際会館
- ・回数 全4回
- ・対象者 新・日本語ボランティア養成講座修了者
- ・受講者数 第1回10名、第2回9名、第3回12名、第4回4名 計35名

#### (イ) 日本語教室支援

##### a よかトピア日本語学習支援メール(R4.10月開始)

- ・発信内容 地域の多文化共生推進や日本語ボランティア活動、教室運営などに有益な情報をメールで提供した。
- ・対象者 情報の提供を希望するメーリングリストへの登録者(R5年3月末 80名)
- ・発信回数 21回(情報提供数102件)

## b 日本語ボランティアスキルアップ研修の開催

- ・研修内容 多文化共生や日本語学習支援について必要な知識を学ぶ研修を開催した。
- ・会場 福岡市国際会館
- ・回数 全2回
- ・対象者 日本語ボランティア活動者
- ・受講者数 第1回19名、第2回14名 計33名

## c ミニセミナーの開催

- ・実施内容 日本語教育に活用できるITツール・教材の紹介等
- ・会場 福岡市国際会館
- ・対象者 日本語教室ボランティア活動者
- ・時間回数 全2回
- ・参加者数 11名

## d 参考図書、教材の貸出し

- 福岡市国際会館4階国際交流フロアに日本語教育・学習、多文化共生等に関する参考図書コーナーを設置し、貸出しを開始した。(令和4年11月開始)
- ・配架冊数 307冊(令和4年度受入 66冊)

## (ウ) 日本語学習者への情報提供

### a にほんご Class Map の発行

福岡都市圏で開催されている日本語教室(58か所)の情報を提供

### b 日本語学習便利サイトを通じた情報提供

財団ホームページに、日本語学習に役立つウェブサイトのリンク集を掲載し、日本語学習者への支援を行った。

## キ 外国につながる子どもと保護者に関する調査

福岡市に暮らす外国につながる子どもと保護者の実態を把握し、支援内容を検討するための基礎資料を得ることを目的に、外国につながる児童・生徒と保護者の現状把握調査を行った。

### (ア) アンケート調査

#### a 対象者

- ・日本語指導の拠点校または配置校で日本語指導を受けている児童生徒及びその保護者
- ・拠点校または配置校に在籍していて、日本語指導は受けていないが外国につながりをもつ児童生徒及びその保護者

b 調査期間 令和4年8月29日～9月16日

c 回答者数 児童:145名(配布部数:319/回答率:45.5%)  
生徒:56名(配布部数:138/回答率:40.6%)  
保護者:110名(配布部数:457/回答率:24.1%)

### (イ) インタビュー調査

#### a 対象者

- ・拠点校または配置校で日本語指導を担当している教員
- ・外国につながる児童生徒の保護者

b 調査期間 令和4年12月～令和5年1月

c 回答者数 教員、保護者各2名

## ク 地域の国際交流

日本人と外国人が同じ住民として互いを尊重し、協力し合う多文化共生社会の実現のため、地域での相互理解・国際交流の促進を目的に、共生コーディネーターが区役所や自治会等と連携し、交流事業を実施した。

また、令和3年度に作成した小冊子「地域の国際交流」の周知を図り、当財団の国際交流に係る支援メニューや地域での取り組み事例を参照してもらい、地域の国際交流の取組を促進するため、区役所・自治会・公民館担当者を対象に18回にわたり、告知と活動促進の依頼活動を行った。

(ア) 令和4年度の地域での国際交流事業実績

α 実施件数 2件(美野島公民館、松島公民館)

β 参加者数 55名

## ケ 災害時における外国人支援

災害時における外国人住民への情報提供などを円滑に行うため、福岡市との協定に基づき、福岡市が財団内に設置する「福岡市災害時外国人情報支援センター」の設置訓練等を行った。

(ア) 設置回数 0回

(イ) 設置訓練・研修

α センター設置訓練、三者通話操作研修

災害時外国人情報支援センターの運営方法について理解と習得を図ることを目的として設置訓練を実施するとともに、センター開設時に、災害に対する多言語での電話相談に速やかに対応できるよう、三者通話操作研修を実施した。

・開催日 令和4年7月20日

・会場 福岡市国際会館4階

・参加者数 財団職員15名、国際部職員8名 計23名

## コ 外国人のためのおしごと相談会

地域における外国人向けの相談体制を強化するため、国内における外国人就職内定者及び外国人就業者を対象に、福岡出入国在留管理局及び福岡労働局と合同で相談会を開催した。

(ア) 開催日 令和4年12月4日、5日

(イ) 会場 福岡アジア美術館あじびホール

(ウ) 内容 福岡出入国在留管理局及び福岡労働局外国人雇用サービスセンターの担当者より、外国人の就労資格や関係労働法令などについて説明と個別相談会を実施した。

(エ) 参加者数 39名

## サ ネパール人のための在留支援セミナー

ネパール人コミュニティからの要請を受け、在留資格等に関するネパール人対象のセミナーを開催し、制度の理解不足による不本意な帰国や法令違反が発生しないよう支援した。

(ア)開催日 令和4年12月21日

(イ)会場 リファレンス駅東ビル5階

(ウ)内容 「留学」「就労」「永住」の三つに分けて福岡出入国在留管理局の担当者より在留資格に基本となるルールや必要な手続きについて説明と質疑応答を実施した。

(エ)参加者数 106名

## ④ グローバル人材を育成する事業

外国人留学生向けの奨学金については、感染症の影響で留学生が来日できない場合を考慮し、引き続き、対象者の要件緩和を行ったほか、奨学生決定後の定期面談等も、感染症の状況に応じて、対面又はオンラインで実施し、コロナ禍における生活全般へのサポートを行った。

### ア 福岡市国際財団奨学金

海外から新たに福岡へ留学する学生を対象とすることを原則としつつ、感染症の影響により留学生が来日できない現状に鑑み、既に来日し、福岡での就職・創業を希望する外国人留学生も対象とするよう要件を緩和し、留学生が安心して福岡で学ぶことができる環境を整え、留学生と市民との交流の機会を増やし、地域の国際化と地元定着の促進に寄与するために奨学金を給付した。

(ア)給付金額 50,000円/月

(イ)給付人数 33名

(ウ)給付対象期間 学部4年間/修士2年間

### イ よかトピア留学生奨学金

地場企業での就業体験を通じた、海外高度人材の地場企業への定着と、地域の国際化・活性化に寄与するため、福岡で就業を希望する留学生に、地場企業での就業体験の機会を提供する奨学金であるが、令和4年度は受入企業がなかった。

奨学金創設当初には、ほとんど行われていなかった留学生の就業体験の機会となるインターンシップ制度は広く行われるようになっており、よかトピア留学生奨学金が担ってきた一定の役割を終えたと判断されたことから、令和4年度末で廃止することとした。

### ウ 留学生育英奨学金

福岡都市圏で学ぶ留学生が安心して勉学に励むことができる環境づくりを、生活資金面から支援するため、団体や企業、個人からの寄付金により奨学金を給付した。

令和4年度は、新たに1つの奨学金が創設され、支援対象が広がった。

(ア)給付金額 500,000円/年または300,000円/年  
(寄付者の希望により決定)

(イ)給付人数 21名

(ウ)給付対象期間 寄付者の希望により決定(半年単位以上)

(エ)奨学金創設者 10団体

(オ)新たに創設された奨学金

・Harvest 留学生育英奨学金(500,000円/年、1名)

## エ 日本人大学生留学奨学金(スタートアップ奨学金)

日本人大学生の留学を促進するとともに、国際社会で活躍できるグローバル人材として育成し、さらに福岡の国際競争力を強化する人材として福岡へ定着させるため、大学卒業後に福岡で創業・就職を希望する日本人大学生の海外留学へ奨学金を貸与した。

また、当該奨学金受給者の福岡での創業・就職を促進するため、留学前研修、留学中・帰国後の報告会や先輩奨学生との交流等を行うフォローアップ事業を実施した。

(ア)貸与金額 最大1,200,000円/年  
(留学先及び期間により異なる。福岡で創業または就職した場合は返還免除。)

(イ)貸与人数 6名

(ウ)留学前研修 令和4年 7月29日

留学後報告会 令和4年10月18日

先輩起業家による講話 令和5年 1月16日

卒業生との座談会 令和5年 3月26日

## オ 留学生の就職支援(留学生と企業の交流サロン)

福岡で就職を希望する留学生を対象に、就職活動に必要な知識などの啓発及び地元企業と留学生の交流を行うことにより、留学生の就活支援及び福岡への定着を図る目的で実施。

令和4年度は、第1部で就活応援セミナー、第2部で企業との意見交換会の2部構成で実施した。

(ア)実施日 令和4年11月21日

(イ)参加者数 留学生43名、企業30名(30社)

(ウ)共催 公益財団法人福岡よかトピア国際交流財団  
福岡外国人学生支援の会  
福岡・大連未来委員会  
一般社団法人福岡県中小企業家同友会  
福岡経済同友会国際委員会

(エ)後援 福岡県留学生サポートセンター運営協議会

## (3) 事業報告の附属明細書

記載すべき事項は、ありません。

【理事会及び評議員会の開催状況等】

会議名	開催日	内 容
理事会	R4.4.1	議案審議（決議の省略による） ・理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦に関する件 ・監事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦に関する件 ・評議員会の開催に関する件
評議員会	R4.4.1	議案審議（決議の省略による） ・理事の選任に関する件 ・監事の選任に関する件
理事会	R4.4.1	議案審議（決議の省略による） ・専務理事選定に関する件
理事会	R4.5.17	議案審議 ・令和3年度事業報告及び決算に関する件 ・定時評議員会の開催に関する件
理事会	R4.6.8	議案審議（決議の省略による） ・評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦に関する件 ・評議員会の開催に関する件
評議員会	R4.6.8	議案審議（決議の省略による） ・評議員の選任に関する件
評議員会	R4.6.23	報告 ・令和3年度事業報告及びその附属明細書に関する件 ・令和4年度事業計画及び収支予算に関する件 ・保有債券の中途売却を伴う新規債券の購入に関する件 ・債券運用基準の改正に関する件 ・「役員賠償責任保険」の令和4年度契約締結に関する件 議案 ・令和3年度貸借対照表、正味財産増減計算書、これらの附属明細書及び財産目録に関する件
理事会	R4.10.1	議案審議（決議の省略による） ・評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦に関する件 ・評議員会の開催に関する件

評議員会	R4.10.1	議案審議(決議の省略による) ・評議員の選任に関する件
理事会	R5.3.22	議案審議 ・令和5年度事業計画及び収支予算(案)等に関する件 ・特定資産(よかトピア記念育英奨学金積立資産)の廃止及び特定資産(レインボー留学生基金)への組入れに関する件 ・「役員賠償責任保険」の令和5年度契約締結に関する件